

# Newsletter

Vol. 14



チュラロンコン大学 - 東京医科歯科大学  
研究教育協力センター

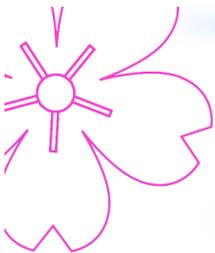


CU-TMDU Research and Education Collaboration Center, Thailand

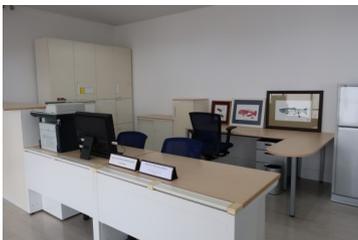
March 31st, 2020

## 目次

① CU-TMDUセンターの移転	1
② 医学科学生のタイ派遣	2
③ 保健衛生学科学生のタイ派遣	3
④ CU歯学部との打合せ	4
⑤ 国際歯科研修プログラム (IDP)	5
⑥ 国際歯科臨床教育コース (EECD)	6
⑦ タイ保健省歯科医師訪問団の来学	7



## ① CU-TMDUセンターの移転



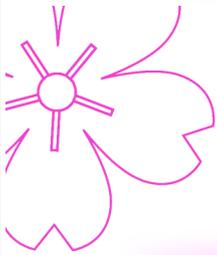
事務室コーナー



会議室コーナー及びTV会議システム

本学のタイ拠点であるチュラロンコン大学－東京医科歯科大学研究教育協力センター (CU-TMDU Research and Education Collaboration Center, Thailand) の部屋が移転しました。新しいオフィスは、これまでと同じ歯学部構内の建物の11階にあり、壁一面に大きな窓があり、とても見晴らしの良い部屋です。室内は事務室のコーナーと会議室のコーナーに分かれており、TV会議システムも整備されています。今後、お互いに顔を見ながら連絡や打合せを行うことができます。現在、チュラロンコン大学と本学との間で、ジョイント・ディグリー・プログラムが実施されていますが、入学試験や講義・セミナーなどの際に活用する予定です。また、センターでは本学への留学希望者に対する留学情報の提供も行っていきます。センターにはチュラロンコン大学歯学部准教授のDr. Atiphan Pimkhaokham (本学客員准教授) と助教のDr. Issareeya Ekprachayakoon (本学客員講師) が非常勤で勤務しています。本学からのCU訪問者や本学の元留学生 (JDAT) は、自由にセンターの部屋を使用できますので、あらかじめ国際交流課にご相談ください。■

✳ タイ拠点運営管理者 健康推進歯学分野 教授 川口 陽子



## ② 医学科学生のタイ派遣

本年度、医学科6年生の江口岳志君が外傷外科と小児科、高嶋吉朗君が外傷外科と形成外科にて、マヒドン大学シリラート病院で、2019年5月11日～6月8日の1ヶ月間の実習を行った。シリラート病院は、バンコクにあり、2500床以上をもつタイの最大規模の病院である。

医学教育から臨床現場まで、英語が広く使われており、学生たちは先生や学生から、回診やカンファレンスでその都度英語で教えられたとのことであった。この病院のような中核病院では、CT、MRIをはじめとした医療設備が整備されているが、学生は卒業後研修医として医療設備の整っていない地域でも働くことが求められているため、画像だけではなく、身体診察に重きを置いた実践的な教育がなされていた。学生たちも予診をとったり初療を担当しており、週に数回の夜勤があるなど、現場の医者と同じように働いていることがわかった。

外傷外科で経験した症例は動物噛傷（イヌ、ネコ、ブタ、ヘビ）、交通外傷、転落による高エネルギー外傷、様々な部位の切創・割創・挫創、角膜損傷、など多岐にわたっており、様々な処置も経験できたようだった。

また、小児外科や形成外科においても、本学では経験できないような多数ならびに多岐にわたった症例を経験でき、さらには、小児のHIVや結核、様々な母子感染など、多くの感染症の症例を経験し、予防やカウンセリングなどについて議論する機会をもてたということであった。

タイでの臨床実習は、日本で経験できないような症例を学ぶことができるとともに、指導体制も非常に良く、総合診療に興味のある学生や、いろいろ新しいことに積極的に参加していきたいという学生にとって非常に学修効果の高い環境であるということが、学生の報告から伝わってきた。学生の様々な報告を蓄積し、学生の希望に合わせた研修先を紹介できるようにしていきたい。■

✧ 医学科教育委員会 教授 秋田 恵一



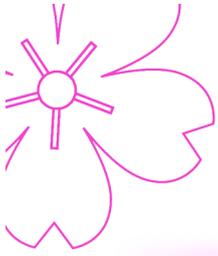
外傷外科での実習後の集合写真



外傷外科のKusuma Chinaroonchai先生と



シリラート病院の学生との交流



### ③ 保健衛生学科学生のタイ派遣

医

学部保健衛生学科とチュラロンコーン大学(CU)保健医療学部は2013年11月に学生交流協定を締結して、2014年に学生派遣を行って以来、毎年8月から9月にかけて約10日間にわたり検査学生の派遣を行っている。これまでに検査学生25名(学部学生22名+大学院生3名:2014-2019年間)を派遣している。チュラロンコーンキング記念病院、赤十字血液センターの見学、研究セミナー参加以外は、学生は一人ずつ、研究室に配属され、研究実習を行っている。土日にはバンコク市内の王宮・寺院見学、アユタヤ遺跡の見学をCU学生と一緒にしている。文化交流では各自学生が様々なテーマに関して英語で発表し、日本文化の紹介などを行っている。学生にはCUよりiHouseが無償で提供されている。この学生交流の特徴は各学生が研究室に個別に配属されるためCU学生と密な交流が出来る点である。学生同士で一緒に市場に行ったり、LINEを交換し合ったりして相互の交流を深めている。この交流に参加した学部学生の一人が修士に進みトビタテ!留学JAPANの奨学金を得て1年間のCU保健医療学部ラボで留学を行っている。■

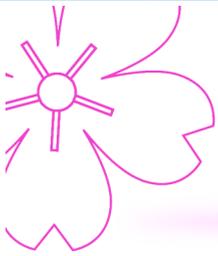
✧ 分子病理検査学分野  
教授 沢辺 元司



CU大学でのClosing ceremony (2019年8月)



CU大学での研究実習 (2019年8月)



## ④ CU歯学部との打合せ

2020年2月6～7日の2日間、チュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センターを訪問し、Suchit Poolthong歯学部長およびPrim Auychai先生（国際交流担当）と、2020年度に向けて国際交流に関する打合せ会議を行いました。

2020年5月には、チュラロンコーン大学歯学部は創立80周年を迎えます。キャンパス内に新しい歯科病院が建設されたり、外壁や建物に地元の高校生やアーティストとの連携で、歯に関連した壁画が一面に描かれており、構内整備が進んでいます。80周年の記念式典と合わせて、第7回Tri-Universityコンソシアム会議“Oral Health for Healthy Aging”が開催されます。また、学生が研究の成果を英語で発表するリサーチデイも開催される予定です。本学から多数の教員や学生が参加して発表を行う計画です。

11月には、チュラロンコーン大学の主催でSEAADE/IADR-SEA（東南アジア歯科医学教育学会／国際歯科研究学会東南アジア部門）がバンコクで開催されます。本学歯学部・大学院医歯学総合研究科では卒業プログラムを紹介する展示ブースを設置して、留学希望者に情報提供する予定です。

12月には、口腔病学会と連携して、本学において国際シンポジウムを開催する計画があります。これまで本学大学院で学んだ元留学生を世界各国から招聘して、“Prevention and treatment of dental caries and periodontal diseases -Current status and future perspectives-”というタイトルで、情報交換を行う予定です。タイからはシーナカリンウィロート大学のNarongsak Laosrisin先生と、チュラロンコーン大学のAtiphan Pimkhaokham 先生を招聘します。タイには日本の大学で歯学を学んだ帰国留学生の組織（JDAT: Japan Dental Alumni in Thailand）があるので、他にも多くのタイの元留学生が本学に里帰りして、学術交流する機会になると思います。■



Suchit 歯学部長とPrim 先生との打合せ

✧ 統合国際機構 教授 森尾 郁子



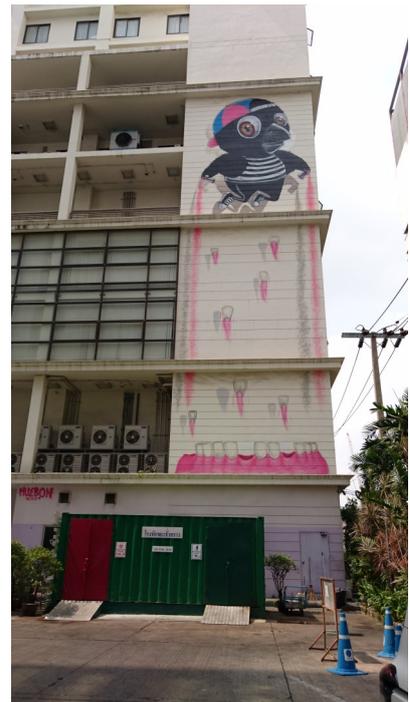
← 歯学部を取り囲む外壁に描かれた絵



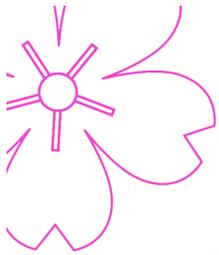
← 高校ごとにテーマを決めて1ブロックずつ描画



← お口を大きく開けて（タイ語）



歯学部の建物に大きく描かれた絵



## ⑤ 国際歯科研修プログラム (IDP)



教育に関するワークショップの後に参加者全員で

2019年8月25日～9月1日に、本学において国際歯科研修プログラム International Dental Program (IDP) を開催いたしました。キングス・カレッジ・ロンドン、ボストン大学、香港大学、ホーチミン医科薬科大学、インドネシア大学、国立台湾大学、ソウル大学と世界から学生が本プログラムに参加し、タイからは、チュラロンコーン大学2名、シーナカリンウィロート大学3名と、計5名の学生が参加しました。

プログラムでは歯学教育をテーマにしたワークショップなど様々な活動を通して歯科学生同士のネットワークを広げ、歯科医療技術・材料について学び、本学大学院研究室訪問を行い、文化交流会を通してお互いの異文化理解を深めるなど、活発な国際交流を行いました。

本学大学院研究室訪問に加え、在学の留学生と直接話す機会も提供され、研修プログラムに参加した海外学生が、自身の歯科大学卒業後の進路として本学大学院博士課程を選択するための情報提供も行いました。

国や大学を超え、歯科医療従事者になる学生同士、互いに交流し絆を深めることができる本プログラムが継続して行われ、学生時代から培う国際交流が今後の国際歯科医療ネットワークを強めていくことが期待されます。■

✧ 統合国際機構  
助教 關 奈央子



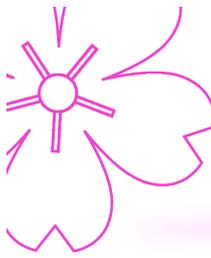
KJ法を用いたグループディスカッション



研究室訪問



他己紹介をする参加学生



## ⑥ 国際歯科臨床教育コース (EECD)



EECD講義室の様子



EECD講義風景 1

本学では歯学系大学院生を対象に、2016年より完全英語履修で最新の臨床知識・技術を学ぶコース「Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)」を提供しています。同コースは受講者から高い評価を得ており、開講通知後数日で申込み数が定員数をオーバーするほどの人気を博しています。タイからの留学生もEECDを受講しています。

今年度は2019年8月19日~29日の期間に夏期集中コースとして行い、テーマを「包括的審美歯科治療」とし、歯科保存学・歯科補綴学の4分野が講義とその内容に対応した実習を行いました。講義間のつながりに留意し、4分野で1) 最新の接着歯学に基づいた直接法コンポジットレジン修復による審美治療の到達点、2) 審美性を高めるための歯周形成外科とレーザー治療による歯肉の色調改善、3) 審美性に優れた歯冠補綴に求められる材料とその臨床応用方法、4) デジタルデンティストリーによる次世代型の補綴治療、についてコースを提供しました。

主に研究のために大学院に在籍している留学生ですが、在学期間中に歯科臨床についてアップデートし、また日本の技術・材料についても知っていただくことは大変重要だと考えます。EECDは2020年度も夏期集中コースとして行われ、多くの参加希望者が申込みを行うことが見込まれます。■

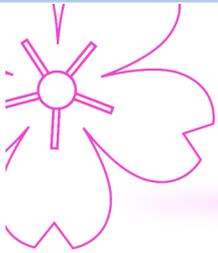
✧ 統合国際機構 助教 關 奈央子



EECDハンズオンコース 1



EECDハンズオンコース 2



## ⑦ タイ保健省歯科医師訪問団の来学

2019年8月27-28日、タイ保健省に勤務する歯科医師ら15名が本学を訪問いたしました。団長は、Dr. Somkuan Hanpatchaiyakul (Senior Advisor to the Health Technical Office, Ministry of Public Health) です。訪問の目的は、日本の高齢者に対する歯科保健対策について情報収集し、また、高齢者の口腔ケアに果たす歯科衛生士の役割について学ぶことです。現在のタイの平均寿命は約75歳と、日本(約85歳)と比較すると低いですが、急速に高齢化が進んでいます。そこで、保健省は日本を参考にして早急に高齢者対策を打ち立てることが必要と考えています。

タイには歯科看護師 (Dental nurse) という職種がありますが、彼らは全員公務員で、民間の施設で働くことはできず、地方の公立病院や保健センターで、主に歯科治療を提供する仕事についています。今後、保健省はすべての年齢層の人々を対象に口腔疾患の予防を提供できる歯科衛生士を養成する教育課程を新設しようと計画しています。

訪問団は歯学部附属病院における歯科治療の見学、口腔保健学科の歯科衛生士教育施設の視察、スキルスラボでの高齢者ロボットを使用した研修等を行いました。また、口腔保健学科の樺沢勇司教授(健康支援口腔保健衛生学分野)や品田佳世子教授(口腔疾患予防学分野)が、日本の歯科衛生士教育の現状や役割等について特別講義を行いました。健康推進歯学分野主催の国際セミナー“Comparison of Public health dentistry between Japan and Thailand”にも参加して、日本とタイにおける歯科公衆衛生に関する情報交換を行いました。さらに、東京都健康長寿医療センターを訪問し、地域の高齢者を対象とした健康増進プログラムの見学を行ったり、講義を受けたりしました。

日本で体験した研修の成果が、タイの高齢者の口腔保健施策を立案する際の参考になり、また、歯科衛生士教育の開始に役立つことを期待しています。■

✧健康推進歯学分野 教授 川口 陽子



タイの保健省からの訪問団



口腔保健学科での特別講義

【発行日】 2020年(令2年) 3月31日

【制作】 国立大学法人 東京医科歯科大学

統合国際機構国際交流課総務係 (E-mail: kokusai.adm@tmd.ac.jp)

<http://www.tmd.ac.jp/international/base/thai/index.html>

【本学タイ拠点所在地】

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11F Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University,  
Henri-Dunant Rd. Patumwan, Bangkok, Thailand